

令和2年 第2回（5月） 筑紫野市議会臨時会
【総務市民委員会 委員長報告】

議案第35号から議案第37号までの3件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第35号 筑紫野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定』の件について、ご報告いたします。

本件は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新型コロナウイルスに感染又はその疑いがある被保険者が休業しやすい環境を整備することを目的として、傷病手当金を支給する規定を追加するものです。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第36号 令和2年度筑紫野市一般会計補正予算(第1号)』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、新型コロナウイルス感染症に対する、国の緊急経済対策である、特別定額給付金事業など2事業と市独自の支援策である、中小企業緊急支援事業など5事業の補正増であり、歳入歳出それぞれ110億8732万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ429億5132万1千円とするものです。

委員会では、市独自の支援策として今回の5事業を選定した理由は、との質疑があり、執行部からは、情報収集を行った上で、今、

最も困難に直面している人への支援を行うという観点で選定した、との答弁がありました。

また一委員から、特別定額給付金の受付開始と支給の時期は、との質疑があり、執行部からは、オンライン申請については既に受付を開始しているが、郵送申請分については、発送準備が整い次第、5月21日頃から順次、申請書を送付して受付を開始し、5月25日頃から支給を開始したい、との答弁がありました。

また一委員から、介護サービス事業者の感染予防対策の現状は、との質疑があり、執行部からは感染症予防に不可欠なマスクなど、県と合同で調査を行い、備蓄状況の把握に努めている、との答弁がありました。

また一委員から、図書カードの支給により本屋へ大勢が押しかけないような対策は、との質疑があり、執行部からはオンラインストアでの購入が可能なQRコード付きの図書カードを予定している、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第37号 令和2年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）』の件について、ご報告いたします。

本件の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対応のため、傷病手当金の増額をするものであり、歳入歳出それぞれ354万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ99億6387万5千円とす

るものです。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。